
開講科目名：監査論特殊研究 (B) (2単位)

開設年次：1年

開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻

担当者：友杉 芳正

《授業の概要》

(授業の目標)

監査は、企業経営における会計・業務・経営の各情報の信頼性を保証し、外部監査と内部監査に分類される。監査の目的、機能、構造を明らかにし、監査の本質を理解する。法制度と結び付く外部監査では、金融商品取引法監査としての公認会計士監査、会社法監査としての会計監査人監査、監査役（会）監査、監査委員会監査、監査等委員会監査がある。また有用な経営管理手段としての内部監査では、内部監査人監査について説明する。各々の監査の存在意義と社会的・組織的有用性について、理論と実践の両面から検討する。主に講義形式で行う予定である。

(授業の内容)

- 1コーポレート・ガバナンスと監査の関係
- 2監査法人
- 3監査基準
- 4監査リスク
- 5独立性
- 6監査手続
- 7監査の目的
- 8監査等委員会監査など
- 9監査報告書の雛形
- 10継続企業の監査
- 11内部統制監査基準
- 12四半期レビュー基準
- 13内部監査基準
- 14一般に公正妥当と認められる監査の基準
- 15非営利法人監査など

(評価方法)

試験点60%、レポートなど提出点20%、その他平常点20%による総合評価

《テキスト》

開講時に指示する。

《参考書》

進度に応じて、適宜支持する。